

要点の整理

1 歴史的かなづかい

歴史的かなづかい(旧かなづかい、古典かなづかい、ともいう)は、読むとおりに書くことで、現代かなづかいに直すことができます。

- ① 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」→「わ・い・う・え・お」  
例 あはれ→あわれ 思ひ出→思い出 言ふ→言う
- ② 「ゐ・ゑ・を」→「い・え・お」  
例 ゐなか→いなか こゑ→こえ をとこ→おとこ
- ③ 「ぢ・づ」→「じ・ず」  
例 ふぢの花→ふじのはな はづかし→はずかし
- ④ 「くわ」→「か」、「ぐわ」→「が」  
例 くわし→かし さんぐわつ→さんがつ
- ⑤ 「あう」→「おう」  
例 まうす→もうす やうす→ようす
- ⑥ 「い」→「い」  
例 あやしう→あやしゅう りうぐう→りゅうぐう
- ⑦ 「え」→「you」  
例 けふ→きょう てふ→ちよう

2 古語の知識

古語には、現代語にない言葉もありますが、現代語と同じ音で意味の異なる言葉もあります。代表的なものを挙げておきましょう。

A 現代語にない古語

- げに||ほんとうに。全く。 まめやか||実用的な。
- つきづきし||ふさわしい。似合う。 つと||じつと。急に。
- ひねもす||一日中。 夜もすがら・夜すがら||一晩中。

B 現代語とは意味の異なる古語

あらまほし||そうありがたい。理想的だ。 らうたし||かわいい。わりなし||理屈に合わない。やむをえない。

あたらし||惜しい。残念だ。 ありがたし||めったにない。いろ||美しさ。風情。 かしこし||高貴だ。おそれ多い。おどろく||目を覚ます。気がつく。 かなし||いとしい。愛らしい。あはれ||しみじみと興が深い。 をかし||おもしろく、興が深い。すさまじ||興ざめた。 そこら||たくさん。とても。としごろ||長年の間。 なかなか||かえって。むしろ。ながめ||ほんやり眺めて物思いにふけること。

3 古典文法

1 係り結びの法則

文中に「ぞ・なむ・や・か・こそ」がある場合、文末が終止形以外の形をとります。

ぞ	なむ	連体形(ウ段という形をとる)	強調
や	か		
こそ		已然形(エ段という形をとる)	強調

2 「の」の訳し方

①主語を表す: 「の」を「が」に置き換えて訳す。

例 雪の(||が)いみじう降りたる朝。

②連体修飾を表す: 「の」のままで訳す。

例 同じところの人。

③体言の代用: 「の」を「こと・もの」に置き換えて訳す。

例 古の(||のもの)は、あはれなること多かり。